

新年特別号

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

迎春



年頭所感

広島県印刷工業組合
全日本印刷工業組合連合会

理事長 中本 俊之
会長 滝澤 光正

年男男女女新春エッセイ

アート印刷株式会社
株式会社中本本店
東光印刷株式会社
株式会社ユニバーサルポスト

戸室 匡代
梶谷 剛彦
道垣内大志
前田 優林

第5回拡大理事会開催

『印刷白書 2022』のご紹介

令和4年度永年勤続表彰

夢メッセ 基調講演 津田 淳子

福山支部だより

事務局だより ●組合のうごき

『福山八幡宮』(福山市北吉津町・福山駅北側)

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年も「いんさつ広島」編集員一同、皆さまに身近な情報等をお伝えできるよう頑張りますので、どうかよろしく願いいたします。

写真は、「福山八幡宮」です。ここには全く同じ形をした参道が東と西に二つあり、その先にも同じく拝殿、本殿が個々にあります。その真ん中に両方を同時に参拝できる「合祭殿」があります。

4代目福山藩主、水野勝種が城下南東の町人の産土神である延八幡宮と城下南西の武士の産土神である野上八幡宮を今の場所に遷座した時、このような配置になったとのこと。身分制度が厳しい江戸時代に武士と町人の産土神が対等に祀られるのは珍しかったようです。

皆さまも一度、初詣に行かれてみてはいかがでしょうか。

※「産土神」(うぶすながみ)と読む

新年のご挨拶

— 2023年テーマ —

今年こそ、真っ赤に燃やせ！ 印刷魂

広島県印刷工業組合
理事長 中本 俊之



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は組合運営に格別のご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年的一大イベントといえば、10月に開催予定の「2023全日本印刷文化典 広島大会」です。一昨年の長野大会が中止、昨年の広島大会が延期となり、前回の高知大会から実に5年ぶりに開催の見込みが立ちました。50年ぶりの主催を担うわれわれ広島県工組にとっては予定より1年遅れの地元開催となりますが、ここに至るまでにたまったパワーを総動員し、万全の体制で臨む所存です。

さらに、この広島大会は「第17回印刷産業夢メッセ」との同時開催となります。夢メッセも2年連続中止となっていました。昨年3年ぶりに無事開催できました。たくさんの人々が知恵や経験を持ち寄って一つのモノ・コトを創り上げる意義と喜び、そして感謝を、いつにも増して感じられた夢メッセだったと思います。この秋は同時に二つの催しを成功に導くという大役を果たさなければなりません。身の引き締まる思いですが、純粋に楽しむ気持ちも忘れず、全国の仲間が一堂に会するこの機会が有意義な場となるよう、精一杯努めてまいります。

このような決意を表明する意味も込めて、今年度の広島県工組では「今年こそ、真っ赤に燃やせ！ 印刷魂」をテーマに掲げました。「真っ赤に燃やせ！ 印刷魂」は全日本印刷文化典広島大会のキャッチフレーズです。厳しい状況にあるといわれる印刷業界ですが、そのような状況下でも下を向かず、強い気持ちで未来を切り開こうというメッセージです。原爆の惨禍から、たび重なる災害から、広島は長い歴史の中で何度も立ち上がってきました。そんな広島を舞台に開催される今大会を通じて、全国の仲間たちに、そして地元広島に、熱いエールを送りたいと思います。「今年こそ」という言葉には、今年こそ文化典を開催し無事成功させるぞという意気込みはもちろん、近年さまざまな事情で実現できなかった夢を、今年こそ叶えましょうという思いも込められています。

さて、あらゆる産業がDXによる価値の創出に取り組む中、全印工連でもポストコロナ時代における戦略について調査、研究、議論を重ねてきました。そこで推進しているのが「DX-PLAT」の活用です。これは発注者と生産者を自動的にマッチングする仕組みで、発注内容に応じて、必要とされる技術や設備など条件の合う会社と組み合わせるといったものです。つまり各社が適材適所で独自の強みを生かして協働し、お客さまの課題解決を図るのです。自動化と省力化を進め、稼働率が低い設備と人的資源を有効活用することで、生産設備の稼働率向上と最適化、生産コストの低減、受注業務や生産管理業務の合理化、そして新たな価値の創出というメリットが期待できます。各社の企業努力だけでなく業界全体を広い視野で捉え、いかに相乗効果を生み出し社会に必要とされる価値を見出すか。これが、印刷産業が生きる道につながるのではないのでしょうか。広島県工組としても、これまで以上に連携し、得意分野を尊重し合いながら、共存できる関係づくりを目指したいと思います。

最後にもう一度言わせてください。10月は「2023全日本印刷文化典」と「印刷産業夢メッセ」同時開催です。この広島に集まってくださる皆さまを、おもてなしの心でお迎えしましょう！

2023年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



全日本印刷工業組合連合会
会長 滝澤 光正

明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昨年9月に名古屋にて開催いたしました「全印工連フォーラム」には、全国から300名を超える方々にお集まりいただき、全印工連事業をより一層ご理解いただくとともに全印工連の団結と協調、さらには将来の業界発展に向けての課題や方向性を再確認することが出来ました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスから解放されることはなく、ウクライナ情勢及び円安による原油や電気などのエネルギー価格の高騰、また、印刷用紙をはじめとする印刷主要諸資材の相次ぐ値上げと様々な価格高騰に翻弄された年でした。新型コロナに関しては、感染者数に変動はあるものの共生が進み、ウィズコロナが浸透してきたことを感じさせる年でもありました。

このような状況の中、私たち全印工連では、未来に向けての持続的な発展という大きな目標に向かって果敢なチャレンジに挑んでいるところです。新時代にふさわしい産業へと変貌するためには「令和の構造改善」を達成することが必要です。その一つの方策として、これまで着々と準備を進めてきた「DX-PLAT」の本格運用を昨年10月より開始しました。この「DX-PLAT」を活用することで、生産設備の稼働率向上と最適化、高度な品質や仕様、納期などを求められる仕事のコスト低減、受注業務や生産管理業務の合理化、そして、そこから新たな価値創出を実現し、さらには、蓄積されたデータを分析・活用することで事業領域の拡大と今以上にサプライチェーンの中で必要不可欠とされるための地位の確立と強化を目指してまいります。

また、グリーン購入法における再生紙の取扱いの改善活動、官公需における最低制限価格制度の導入推進や知的財産権保護など、私たち印刷産業の共通課題解決に向け引き続き全力を傾注する所存です。

全印工連は、本年も引き続き、ブランドスローガンである「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」へと繋がる各種事業に取り組み、組合員各位とともに印刷産業の発展にむけ一層精進してまいります。

2023年が皆様にとって明るく希望に満ち溢れた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



年女新春エッセイ



気がつけば年女

アート印刷株式会社
製造グループ 戸室 匡代
(昭和38年生)



新年明けましておめでとうございます。

入社して数十年が過ぎ、多分5回目の年女になろうとしていたある日、社長から「文章を書いてもらいたいよ。」と言われ、『うさぎ年の方が見つかりません。ピンチです!!』というFAXを渡されました。文章を書くことが苦手の私がピンチになってしまった感じがしていますが、年女になるので今までのことを思い出してみようと思います。

私は農家に生まれたので、自然の中で元気にのびのびと育ったと言いたいところですが、偏食な子供で食べられる物が少なくて、山や川でよく遊ぶ反面よくお医者さんにもお世話になっていました。

中学・高校時代は漫画にハマっていて、少女漫画の雑誌をほとんど読んでいたと思います。そしてこのことが芸大に進学したり、印刷会社で働くきっかけになっていたのかなあと思います。

1981年に京都の短大に進学し、二年間デザインを学び、卒業後に地元に戻って来てアート印刷に入社しました。当時、アート印刷を選んだ理由を「電話帳の一番始めにあったからじゃろう?」と聞かれることがありましたが、そうではなくて、電話帳に求人広告があったからでした。

それはさておき、入社した頃は、当然のことながらパソコンは無く、デザインをもとに版下を作り、製版したフィルムを刷版に焼いて印刷をしていました。私は主に版下を作っていて、打ってもらった写植を切ったり貼ったり、訂正が入れば文字を切ってズラしたりと…、今思えば気が遠くなりそうな仕事でした。

その後、DTPになり、デザイン・版下からフィルム出力までを一つの部署で行うようになりました。移行した当初はパソコンを含め出力をするための機器が不安定で、エラーが多く、夜中までかかってもフィルムの出力が出来ず、もう泣きそうになりながら、不具合箇所の追跡をしていたことを思い出します。

10年ほど前、今の製造の現場に異動になり、場所も二階から一階になりました。ここでは印刷の紙積み、刷り紙の断裁・簡単な加工・封入れ作業・包装・発送などを行っています。封入や包装などの手伝いをした

ことは何度かありましたが、実際に働くのとは大違いで、知らなかったことも多くあり要領も悪く、毎日がパニックでした。それでも何とか、周りの人の助けを借りながら現在に至ります。

不思議なもので、一つのことが変わると色んなことが変わっていきました。この頃に友人に誘われて山登りを始め、そのトレーニングのためにとジム通いを始め、その流れでマラソン大会に出たりもしました。公私共に体を動かすようになったことが、良かったようで、それまで私を悩ませていた体の不調が解消し、元気に動き回っていました。

ここ数年はコロナ禍で思うように動くことができていません。近頃少し緩和されていますが、コロナ禍はまだ続きそうです。しかし、新しい年は、ルールを守りつつ体を壊さないよう気をつけながら、今を大切に、仕事もプライベートも楽しめるようにしていきたいと思っています。



岩樋山から大山を望む

IWATSU
岩崎通信機株式会社

(旧会社名：メディアコンフォート株式会社)

九州支店 印刷営業担当 〒812-0023 福岡市博多区博多駅東2-9-25
(アバダント84ビル)

TEL.092-481-4114 FAX.092-481-4225

本社 第一営業部 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41
TEL.03-5370-5476 FAX.03-5370-5494

www.iwatsu.co.jp

年男新春エッセイ

今までのご縁に感謝し、
2023年を新たなスタートに株式会社中本本店
ライツ・ラボ 部長 梶谷 剛彦
(昭和50年生)

あけましておめでとうございます。

昨年、家族の中で大きな出来事がありました。春に息子が大学進学で県外に出たことです。思い起こせば私が親元を離れたのも大学進学がきっかけで、それ以来一緒に暮らすことなく今に至っています。おおよそ30年前のことです。そう思うと少し寂しさもありますが、今まで元気に成長してくれたことをうれしく思います。これからしばらく大学という準備期間を経て、本当の意味で親元を巣立つ日をお互いに元気で迎えられることを願います。

息子は進学した京都の大学の農業交流ネットワークというサークルに所属しています。農業の現場で全国の農家の方と作業し、食や泊、遊びを共にするという活動で、京都だけではなく他県にも出向いているのですが、実は私が紹介しました。現在弊社では、広島地域の農家や漁師など食のつくり手を取材し、その思いを誌面にまとめた冊子と、そのつくり手の食材を、一緒に読者に届けるという食べもの付定期購読誌『ひろしま食べる通信』を発行しています。その取材の中でサークルの学生たちと縁があったからです。まさか息子がその大学に進学することになるとは思っていませんでしたが、合格後に届いたサークル情報がまとめられた冊子を見て思い出しました。軽い気持ちで紹介しましたが、性に合っていたのか継続的に参加しているようで、夏には沖縄を訪れ、11月には私がサークルを知るきっかけとなった広島県の農家にも訪れたようです。

縁というのは不思議なもので、時が経つと点と点だったものが線となり、線と線が円となることを年月の経過とともに実感します。だからこそ、一つ一つのご縁を大切にしなければならぬのだと思えるようになりました。

先ほどご紹介した『ひろしま食べる通信』の発行目的は、食をつくる人と食べる人が直接つながることです。食べることは健康的に生きるために欠かせません。また、食文化という言葉があるように、その土地ならではの食材、それらを使った郷土料理や食にまつわる慣習な

ど、食べるものや食べることは人々の暮らしを豊かに彩り地域の歩みを語り継ぐ宝です。

ですが、もしかしたら私たちは日常生活の中で食べることを「当たり前」と思い込み、その価値をあまり深く意識することなく過ごしてしまっているかもしれません。特に今、コロナ禍、災害、戦争、円安…世界を巻き込んださまざまな出来事が起こっています。海の向こうの状況は遠い国のお話ではなく、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。食もその一つで、輸入に頼っていたものが入らなくなり、入ってきても価格は高騰。毎日のように飛び交う品薄や値上げのニュースは実感となって私たちに襲いかかり、思わぬ形で世界とのつながりを知ることとなっています。

こんな時だからこそ、これまで以上にすぐそばにある広島県の食に目を向けることが大切なのではないかと考えています。世界を劇的に変えることはできなくても、一人一人の小さな一歩によって、食のつくり手、それを食べる私たち、互いの笑顔と幸せな未来につながると思っています。

『ひろしま食べる通信』は今年の2月に発行される予定のVol.36(冬号)で、約7年の歩みに幕を閉じることとなりましたが、この取り組みがなければつながることができなかったであろう方々とのご縁や、さまざまなことを知る機会を得ることができ、何にも代えがたい財産となりました。

しかし私たちは歩みを止めるわけではありません。これからも広島県域を中心にさまざまなつくり手の思いを届けるWebメディア『つくる人に、会いに行くひろしま食物語』をスタートします。形は違えど、今までのご縁を大切に、さらなるご縁を求めて。偶然ではありますが、年男となる2023年は新たなスタートの年として、今まで以上に躍動していくつもりです。京都で新たな道を進み始めたばかりの息子に負けないように。

年男新春エッセイ



初心にかえり、うさぎのジャンプ

東光印刷株式会社

広告運営1課 道垣内 大志

(昭和62年生)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。新しい年を迎えるにふさわしく、私は今、新鮮で前向きな気持ちで過ごしています。

私は幼い頃から印刷・出版の業界に憧れて、大学卒業とともに上京。出版社勤務を経て東光印刷に入社しました。憧れていた職種でしたが、挫折や失望、絶望を経験するうち、無意識のうちに「諦め」に似た感情で自分の気持ちに壁を作っていたようです。そうすることでしか20代の私は自分を守れなかったのかもしれませんが。しかしここ数年で、私の心を覆っていた壁が少しずつ壊れてきて、もともとの興味、関心がまた顔を出すようになってきました。今年で36歳。人生3度目の年男には、もう幼稚な壁は要らなくなってきたようです。そんな自分に気づかせてくれたのは2歳の息子の存在でした。

息子がうまれてから、私の生活は激変しました。仕事との向き合い方、取り組み方も変えざるを得ませんでしたし、プライベートでも、例えば趣味の時間が全くなくなりました。読書もしない。映画も観ない。熱心に応援していたカーブにも、いつのまにか疎かになってしまいました。変化に対応するために、今までの自分を崩していく作業がどうしても必要になったのです。一方で、息子はどんどん成長します。歩けるようになり、近所を一緒に散歩できるようになりました。息子は色が好きで、花や看板を指さしては「アオイー!」「アカイネエ!」などと言うようになりました。絵本も大好きで、毎日食い入るようにページを見つめています。クレヨンと一緒に絵をかき遊べるようになりました。しっかり握ったクレヨンを画用紙にこすり付け、目をまんまるにして私に驚きを伝えてくれました。息子と日々を過ごすうちに、だんだんと私の心がほぐれていったようです。

息子の目を通して世界を見つめることで、色が色としての輝きを取り戻し、絵本に印刷された世界が生き生きと動き出し、クレヨンの色が画用紙に乗ることに新鮮な驚きと感動を覚えました。私を囲んでいた幼稚

な壁はこうして崩れ去り、印刷に対する純粋な気持ちを思い出させてくれたのでした。

思えば私も幼い頃から絵をかき遊びが好きで、裏面が白紙の折込チラシを見つけては絵を描いていたものです。いつしか本でもチラシでも、印刷物全般に魅かれるようになりました。中学生の頃は生徒会新聞を作って印刷し、学校中に貼り出しました。大学生になると、オリジナルの缶バッジを作って販売するなどして遊びました。作ったものが印刷されることで大量に複製され、配布されて、たくさんの人に情報が届く。そんな活動を通して得た喜びを、最近また思い出しています。

新年を迎えたいま、紙面を作りたいという純粋な欲求に改めて目を向けることができている。うさぎ年の今年、初心に立ち返って紙面作りの業務にあたりたいと思っています。情報やそれに付随する印象を、言葉で、色で、デザインで、ストレートに伝えられるような、素直な紙面作りを心掛けるつもりです。また、私生活の変化によって興味の幅が広がり、新たな視点も獲得できたと思います。今年は昨年より広い視野を持って紙面作りに取り組めるのではないかと期待しています。そしてこの好奇心を紙媒体だけにとどめず、様々なデジタルメディアへ展開させることにも挑戦していきたいです。うさぎの跳躍力にあやかって飛躍の一年にできるように。気を引き締めて、新年のスタートダッシュです。

世界に広がる **hinyo** のネットワーク

営業拠点
製造拠点
研究所

ゴムロール・ゴムブランケット
ゴムのことならおまかせ下さい!

株式会社金陽社広島営業所
☎725-0002 広島県竹原市西野町1561-1
☎0846-29-1011 FAX0846-29-1229

年女新春エッセイ



「考える力」で未来を創る

株式会社ユニバーサルポスト

感性マーケティング室 前田 優林 (ゆりん)
(平成11年生)



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2度目の干支を迎え、今年24歳になります。新卒で入社してから約2年、感性マーケティング室という、数年前に立ち上がった部署で仕事をしております。社会人としてはまだ経験が浅く日々学びの連続ですが、20歳までは器械体操の選手としてアスリート生活をしておりました。

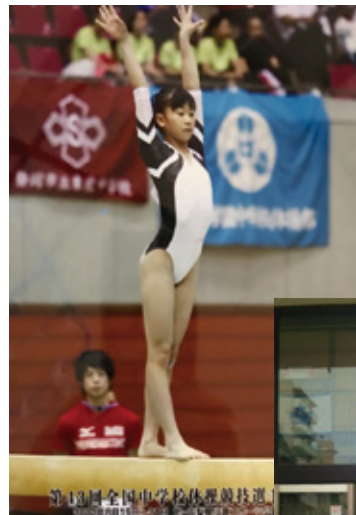
体操を始めたのは1歳半のころでしたが、広島には選手として練習できる環境が少なく、本格的に練習を始められたのは中学生と、周りに比べてとても遅いスタートでした。それでも朝は家で3時間のトレーニング、夕方は体操クラブで5時間以上の練習を週6日続け、1年で初の全国大会に出場することができました。その後もインターハイや国体など多くの試合に出場させていただき、団体全国3位の成績まで残すことができました。今日は、私の選手生活を最初から最後まで親身に支えてくださった、S先生の教えの1つ「考える力」についてお話させていただこうと思います。

S先生はいつも、「上手になりたいなら、自分で考える」という事を言われていました。練習中に誰かが「何したらいいですか」と聞こうものなら毎度練習を中断し、説教されたのをよく覚えています(笑)。「上手になりたいのは自分なのに、そのために努力する過程を人任せにするな」と。繰り返し同じことを言われてきたので、いつの間にか目標達成のためには、「いつまでに何が必要か、そして今の自分に足りないものは何か、どうすればそれを補えるのか」という事を考えられるようになっていました。この「考える力」は戦略的な練習に繋がり、1年で全国大会出場を達成した大きな要因になったのではないかと思います。

そしてこの「考える」という習慣は、体操だけでなくどの場面でも大事なことで、社会人になってから気が付きました。「昔はこうだった」とか「他の人がこうしているから」など、右ならえで考えない姿勢が問題視される日本社会ですが、この24年間を振り返ってみるとイレギュラーな事態ばかりで、変化しなくて

いい理由など見当たりません。2000年問題やアメリカの同時多発テロ、前回のうさぎ年には東日本大震災、今はコロナ禍や戦争など、これまでの当たりまえが通用しなくなったことは明らかです。このような先が見えない社会で自分が、会社がどう変化していくか決定するには「考える力」が必要だと思います。社会人3年目突入というこのタイミングを良いきっかけに、社会や業界の課題をしっかりと捉え、その解決をしながら未来を切り開く新サービスや企画を自分の頭で考え、ビジネス拡大していくことを重要視していきたいと思っています。

大事なことを教えてくださったS先生は12月いっぱい指導を引退され、1月から私が指導を引き継ぐことになりました。忙しい1年になりそうですが、体操だけでなく自分が教わってきた大事なことを選手や生徒たちに伝えられるよう、頑張っていきたいと思います。皆さまにとっても、今年が充実した1年になりますように。引き続きよろしくお願いいたします。



あけましておめでとうございます

令和5年元旦

<p>アート印刷株式会社</p> <p>代表取締役 社長 細川 俊介</p> <p>福山市南本庄1丁目10-38 〒720-0077 電話(084)924-5588</p>	<p>株式会社 アドプレックス</p> <p>取締役社長 隅川 通治</p> <p>広島市中区舟入南1丁目1-18 〒730-0847 電話(082)232-4286</p>	<p>株式会社 石井印刷所</p> <p>代表取締役 社長 石井 千之明</p> <p>専務取締役 原田 明</p> <p>東広島市西条岡町9-17 〒739-0016 電話(082)423-2173</p>
<p>イチカワ印刷株式会社</p> <p>代表取締役 市川 哲也</p> <p>府中市元町422-2 〒726-0003 電話(0847)45-4358</p>	<p>株式会社 インパルスコーポレーション</p> <p>代表取締役 社長 後藤 智治</p> <p>広島市安佐南区相田1丁目16-27 〒731-0141 電話(082)878-6000</p>	<p>大東印刷株式会社</p> <p>代表取締役 大東 弘典</p> <p>三原市皆実4丁目5-30 〒723-0052 電話(0848)62-3389</p>
<p>有限会社 加計印刷</p> <p>取締役社長 大倉 啓司</p> <p>山県郡安芸太田町大字加計3444-1 〒731-3501 電話(0826)22-0568</p>	<p>金正印刷株式会社</p> <p>代表取締役 薬師寺 尚志</p> <p>広島市南区段原南1丁目27-7 〒732-0814 電話(082)253-3301</p>	<p>株式会社 原色美術印刷社</p> <p>代表取締役 社長 田尾 直也</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-48 〒733-0833 電話(082)277-3030</p>
<p>瀬戸内海印刷株式会社</p> <p>社長 大田 恒三</p> <p>広島市佐伯区石内北5丁目1-8 〒731-5109 電話(082)554-5500</p>	<p>株式会社 T a i s e i</p> <p>代表取締役 吉岡 ゆかり</p> <p>本社 広島市安佐南区祇園3丁目24-17 〒731-0138 電話(082)875-3232 東京営業所 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル2F 〒100-0013</p>	<p>中国新聞印刷株式会社</p> <p>代表取締役 社長 山根 徹三</p> <p>廿日市市大野387番地3 〒739-0422 電話(0829)50-2838</p>
<p>当田印刷株式会社</p> <p>代表取締役 当田 信幸</p> <p>呉市阿賀南2丁目9-47 〒737-0004 電話(0823)71-7762</p>	<p>有限会社 トータルワーク</p> <p>代表取締役 大道 綾彦</p> <p>広島市西区中広町2丁目24-5 サンコーポ中広205 〒733-0012 電話(082)234-2133</p>	<p>中川印刷株式会社</p> <p>会長 中川 仁隆</p> <p>代表取締役 社長 中川 隆</p> <p>広島市西区横川町2丁目8-5 〒733-0011 電話(082)291-3841</p>
<p>株式会社 中本本店</p> <p>代表取締役 中本 俊之</p> <p>広島市中区東白島町13-15 〒730-0004 電話(082)221-9181</p>	<p>株式会社 ニシキプリント</p> <p>代表取締役 宮崎 真</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-33 〒733-0833 電話(082)277-6954</p>	<p>株式会社 沼田総合印刷</p> <p>代表取締役 丸林 智行</p> <p>広島市安佐南区沼田町阿戸657-1 〒731-3271 電話(082)839-2500</p>
<p>有限会社 花田印刷所</p> <p>代表取締役 花田 一弘</p> <p>広島市中区光南6丁目2-6 〒730-0825 電話(082)243-2062</p>	<p>広島印刷株式会社</p> <p>代表取締役 齋藤 正成</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-4 〒733-0833 電話(082)277-6050</p>	<p>有限会社 広島入力情報処理センター</p> <p>代表取締役 玉野 佳子</p> <p>広島市東区矢賀新町1丁目6-14 〒732-0044 電話(082)510-1511</p>
<p>株式会社 広瀬印刷</p> <p>代表取締役 瀬尾 淳</p> <p>広島市西区中広町3-3-12 〒733-0012 電話(082)232-2238</p>	<p>福山エビス印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小田 芳正</p> <p>福山市東川口町1丁目5-5 〒720-0821 電話(084)954-2200</p>	<p>株式会社 文化社</p> <p>代表取締役 重本 正樹</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-56 〒733-0833 電話(082)277-2661</p>

あけましておめでとうございます

令和5年元旦

松本印刷株式会社 代表取締役 松本仁志 廿日市市下の浜 5-12 〒739-0433 電話(0829)55-2290	明生印刷有限会社 代表取締役 青木博 広島市中区舟入川口町18-19 〒730-0845 電話(082)231-9778	モンデン化成株式会社 代表取締役 田頭正芳 福山市神辺町道上2891-1 〒720-2104 電話(084)960-0345
株式会社 ユニックス 代表取締役社長 宇都宮公德	株式会社 ユニバーサルポスト 代表取締役社長 喜瀬清 広島市西区商工センター7丁目5-52 〒733-0833 電話(082)277-5588	レタープレス株式会社 代表取締役 増田達朗 広島市安佐北区上深川町809番地の5 〒739-1752 電話(082)844-7500
今谷印刷株式会社 代表取締役社長 今谷哲也 東広島市西条町寺家6608 〒739-0041 電話(082)422-2714	株式会社 呉精版印刷 代表取締役社長 高山順子 呉市築地町5-4 〒737-0822 電話(0823)22-5011	株式会社 三丸シール印刷 代表取締役 須寄竜二 広島市中区舟入川口町2-35 〒730-0845 電話(082)232-5469
三和総合印刷株式会社 代表取締役 近江弘至 福山市曙町6丁目1-11 〒721-0952 電話(084)953-1969	重田印刷株式会社 代表取締役 重田耕作 府中市本山町10530-229 〒726-0001 電話(0847)41-2226	至誠堂印刷株式会社 代表取締役 國光俊博 広島市中区猫屋町8-26 〒730-0852 電話(082)232-6111
佐々木印刷株式会社 代表取締役 佐々木孝朗 三次市東酒屋町306-55 〒728-0023 電話(0824)62-3539	有限会社 新洋社印刷所 代表取締役 島田星平 広島市西区観音町4-14 〒733-0031 電話(082)232-3348	セイコービジネス株式会社 代表取締役社長 宇都宮公德 呉市郷原町4010-11 桑畑工業団地 〒737-0161 電話(0823)77-1122
第一美術印刷株式会社 代表取締役 小下博史 広島市西区中広町1-19-10 〒733-0012 電話(082)231-8165	有限会社 泰平紙業 代表取締役 角野壽男 広島市西区商工センター7丁目5-29 〒733-0833 電話(082)277-4301	東光印刷株式会社 代表取締役社長 小倉裕巳 広島市西区商工センター7丁目5-15 〒733-0833 電話(082)501-0780
広島中央印刷株式会社 代表取締役社長 田村治重 広島市中区国泰寺町1丁目5-18 〒730-0042 電話(082)241-9291	株式会社 ひろみ 代表取締役 増原智子 広島市安佐南区長東5丁目5-10 〒731-0135 電話(082)237-1687	二葉印刷有限会社 代表取締役社長 佐藤大悟 本社 福山市霞町3丁目4-26 〒720-0812 電話(084)922-4785 工場 福山市山手町5丁目29-19 〒720-0092 電話(084)951-2124
株式会社 ポップジャパン 代表取締役 熊本卓司 広島市安佐南区伴南2-5-19-26 〒731-3168 電話(082)811-8500	まつぎき印刷株式会社 代表取締役社長 松崎友之 福山市神辺町西中条1333-6 〒720-2103 電話(084)960-0800	謹賀新年 本年もよろしくお願ひいたします 令和5年 元旦 広島県印刷工業組合 事務局

2022印刷産業夢メッセ 基調講演

『デザインのひきだし』のつくりかた

～売り切れ続出の『デザインのひきだし』の秘密に迫る!～

グラフィック社『デザインのひきだし』編集
津田 淳子 氏

私は『デザインのひきだし』という印刷・紙加工の実践情報誌を作成していますが、同時に、印刷とか紙とかデザイン、あとは2年に1回ぐらい自分の趣味に寄った本を年間3冊とそれ以外の本を5～6冊で年間9冊ぐらい作っております。

今日は、『デザインのひきだし』のお話を中心に話させていただこうと思いますが、『デザインのひきだし』が2007年1月に創刊し、創刊当時から印刷部数は1万部作っています。広告は一切入っていません。それで、創刊から30号ぐらいまでの10年間ぐらいは、1万部作っていると発売と同時に買っていただき、だいたい1年ぐらいで全部が無くなっていましたが、30号を出した時に、『新しい特殊印刷加工の教科書』というテーマで、日本全国からこんな特殊印刷ができるよという所をご紹介した特集を作ったら、SNSですごくバズったと言いますか、「こんな本がある」みたいなことで知っていただく機会があって、それまでは、グラフィックデザイナーやエディトリアルデザイナーとか、そういう印刷物を作るデザイナーの方と企画をする人。あとは実際の現場で印刷加工・製本なんかをなさっている人というところがほとんどでしたが、それからはそれに加えて個人的に印刷物を作っている人が増えました。

それで1万部の作製ではいくらなんでも手に入らないというのを既存の読者の方からお声をいただいて、それで35号から一応1万2千部に増やし、なおかつ印刷製本でできる限り、素材、材料がある部分全部作るようお願いして、今は1万3,500部を出荷しております。

価格は、2,000円プラス消費税でしたが、十数年経ちますと、だいぶ紙代も、印刷・製本代も上がりましたし、あとは、創刊号の頃と今では、だいぶ付録とか表紙とかの仕様が異なってきており、どうしてもコストが追う毎に制作費用が上がってきました。そこで、自分でできることは外部に委託しなくて自分でやるようにコスト削減に努めてきましたが限界があり、今から6号前から、2,200円プラス消費税で、今2,420円に上げさせていただきました。ただ、ありがたいことに、その時にも「全然、上げてもらっていいから、出して

もらうほうがいいです」みたいなお声を多くいただいて、書店さんからも「全く影響ないです」ということだったので、皆さん、ちゃんと値上げをしても理解していただけたのが大変嬉しく思いました。

『デザインのひきだし』を見られた方は、感じられたと思いますが、紙製品を企画する側が、それをお願いするために必要な情報をいろいろまとめてご紹介をしています。毎号テーマ、ワンテーマ、「製本」とか「箔押し」とかといったことにテーマを決めて特集をしています。そういった印刷物の良さとか紙の素敵さみたいなを写真に撮って印刷してお伝えしようと思ってもどうしても伝わりにくいということが、それはもちろん紙の持つ印刷加工の良さだと思っておりますので、できるだけ実物サンプルを多く付けて、それを読者の皆さんに実感していただいて、良さが伝わって、それを使っているいろいろな紙物を作っていただきたいということで、できるだけ付録するようにしております。それに合わせて、特に表紙ですね。あとは製本とかホウコウ用紙もですけれども、そういったものも特集のテーマに合わせて、できるだけ実験をして、正直、失敗に近いこともあります。製本とか表紙の加工を使う素材というのも特集に合わせてできるだけチャレンジをしたものを使うようにしております。

読者層は、圧倒的に30代、40代の女性がメインターゲットです。正直言うと、『デザインのひきだし』だけではありませんが、私が作っている本は、ほとんどが同じです。

デザインの本にしても、画集のようなものにしてもそうですし、あとは、2、3年に1回ずつ、本当に趣味の全然ジャンル違いのものでも、主要読者は変わりません。

でも本当は、編集者としては全然違った属性の人。例えば、20代男性とか10代の女の子とか、そういう人に向けた本も自在に作れるということがいいのかもしれないですが、残念ながら私はそういったことはよくできません。今よく広告業界でもそういうところでも、1つペルソナを立てるとか言って、仮定の消費者から仮定の読者、想定読者みたいなものを決め込ん

で、そこに向けて広報して、リサーチして、本を作る、消費も作る、広告も作るという手法もすごく多いですが、私は残念ながらそういった才能は全くありませんで、もう自分が知りたい、周りもそうだよ、知りたいと思っているよね?というところがスタートになって、本を作っております。

いやらしい話ですけども、よく売り切れ続出と書いていただいているので、売行きを直近2号前についてお話しします。日本で一番大きな書店チェーンのデータですが、消化率が99.6%、返品率0.2%で、あと0.2%は多分、数冊どこかのそのチェーンの中に在庫があるという、まだ置いてある所が数冊あるよという状況です。46号、1号前は箔押しの特集で、消化率100%で返品率もゼロ、弊社のほうにも在庫無し、書店にも在庫無しという状況です。

※ここからは、創刊から47号までをどのように作成しようと思いついたか、そして、創るにあたって失敗例、成功例をパワーポイントで詳しくお話しされた。その中で山口県の赤坂印刷(株)の話もありました。

最後に自分が頼みたい加工会社、私が『デザインのひきだし』を頼んできた中で思いますが、基本的には『デザインのひきだし』は図書印刷に頼んでいますし、表紙とかそういったものは全然別のところに頼みます。会社の出版物自体はかなり図書印刷に頼んでいます。その理由としては図書印刷には製本コンシェルジュと言われる職業の人がおられるからこそというのがあって、その人はもともと製本の現場におられいまは出版部に図書印刷の営業の人とちょっと難しい製本の時には必ず来てくれる人で、色々こんなことをやりたいと言うと、現場にこうしたらできるという間をつないでくれる人なんです。『デザインのひきだし』はそうですし、ちょっと他のほうでも製本でちょっと注意しないといけないという時は来てくれて、色々ここだったらできる、これはテストしないと無理みたいところを色々教えてくれて、それでできるというのが一つ。

それ以外にも、いろんな『デザインのひきだし』で



リサーチに行くと、「御社で得意なところは何ですか?」とよく伺うと、「言ってもらったら何でもできますよ」ということをおっしゃる会社が結構あります。実際に私がこういうことをやりたい、こんな印刷をしたい、こんな製本をしたいと言ったらやってくださると思いますが、私たち頼む側からすると「言ってくれたら」みたいな「どんなこと」を、どんなことを具体的にどういふことがあるのだということを分かっていないんですね。だから、「言ってもらったら何でもできるよ」というのは、こっち側からすると、何も分からないというのと同義語になってしまっているの、そうじゃなくて、ごく普通のことでも我らにとっては、「それすごくいいな」と思うことがたくさんあるので、例えば「板紙に印刷するのが得意なんですよ」、その会社の人からしたら当然のことですから、わざわざアピールするまでもないって思われるのです。そう思われる方がたくさんおられます。「うちはただ板紙にYMCK刷っているだけですから」と謙遜されますが、「いやいや、板紙に印刷するのが得意なんです。何ミリぐらいまでとか何グラムまで刷れますか」とか、「何色までいけるのか、何回通してこうでとか、できますよ」とか聞くと、こっちからすると「えっ、すごい。そんなこともできるんだ」と感じるのですね。でも自社でできることは当たり前だと思ってアピールなさらない方は本当にもったいないと思っているので、「板紙にCMYKバッチリ色合わせするのが得意なんですよ」とか言ってくれたりとか、「うち、正直コンマ9ミリまでの板紙通せます」とかすごいってなるし、自分の会社にできることが普通だとは思わないで、どんどん具体的にどんなことができるということを教えて欲しいなと本当に思います。それこそ「ザラ紙みたいなものにも刷れます」というのも、こっちからすると「えっ、刷ってくれる、嬉しい」みたいなことですよ。実際にあったことで、その会社は中性紙とかザラが得意でたくさん刷っていて、4色でも結構きれいで、ザラ紙用のカラー、分解ファイルを作っていて、CMYKでなるべく沈まないように刷ってくれるのはすごいことだと思いますが、「いやあ、ザラ紙に刷ることは当然なんで」と言われて「いやいや、それはすごいからアピールしてください」とお話しするし、実際に私はザラ紙に刷るときにはそこに頼みますね。

他、自社がやっていることを本当にこっちからすると「すごいそんなことができるのだ」ということばかりだと思しますので、何か、何でもできますとか本当に普通のCMYK仕上がりだけなんでとかおっしゃらないで、どんどん「こんなことやります」、「こんなことができます」というのをアピールして欲しいな。そしたらこっちもその時に頼むのにというのがよく思ってい

ます。

もう1コ、私がさっきの表紙で箔押しをコスモテックさんに頼んでいるとか、他にも出版物でいたい東京近郊、埼玉他で作ることが多いのは確かですけども、そうじゃなくて北海道の印刷会社とか箱屋さんにも頼む。大阪のピンクマスターに刷るのにわざわざ大阪に頼んだりとか、東京じゃない会社に頼むことは結構あるんですね。でも、それは何でかというところ、唯一の技術だったりとか、自分のところはこんなことができるってアピールしていただいて、「わあ、すごい」と思えば、北海道といえども輸送で1日見ておけばどうにでもなるので、日本全国どこでも本当にプラス1日ぐらいあれば頼めないところはないなと思っているので、そこ唯一の技術だったりとか、単なる箔押しだとしてもここに頼むと校正の時に、「いまこんなものもあるから押しておきましたよ」とか3種類ぐらい頼んでもいないのに、校正の時に…。そうすると、「こっちの金のほうがよかったチャンス1でお願いします」ということになって、あそこに頼むと別にそういうことじゃなくて、プラスアルファで「この紙だと、多分よくインキがコールドで乗らないのでこっちにしたほうがいいですよ」とか、そうしたらこっちも当然ながらコストも払うので2種校正、紙2つになってもそんなにコストは掛からないので「2種校正をお願いします」となったりとか、プラスアルファのこっちがどんなことをしたいかということを考えて下さって、ちょっとした提案をしてくれたりとか、それで「こうしておきましたよ。もともと言われたのはこうだったけど、こっちも有りじゃないですかね」ということを教えてくれたりとかがあると、もう別に東京じゃなくても、さすがに海外は考えますけど、日本国内だったら、私も実際に北海道、大阪、四国とか頼んでいるので、一つ乗り越えてでもお願いしたい会社はそういうことだなと感じています。

『デザインのひきだし』を作っている中で、すごく情熱のある印刷会社さん、加工会社さん、製紙会社さん



と出会って、そうすると意気投合してこうしようという、前もそんな感じで表紙もできている感じではあるんですけども、出版物だけでいっても雑誌なんかはかなり数量が減っていますし、書籍も数年前までは年間8万タイトルぐらい出ていたのが、今年は多分7万タイトル切っていたりとか、一つひとつの部数が減っていたりとか、印刷物を取り巻く状況は決して右肩上がりとは言えないと思いますが、ただやっぱり紙だからこそいいとか、意匠性みたいな面もありますし、そうじゃない機能という面では私は紙がすごく優れているところがたくさんあるなと思っていて、そういう強みを知って、それを活かした本を作ること、うちの会社で言っても業績としては毎年上がっていますし、やり方次第でまだまだ元気にこれから新しいまた紙製品、紙物というのは出てくるなというのは、自分自身の出版で感じています。皆さんの会社がどんなことをされているのか、皆さんがどんなデザインをされているのか、どんなものを作っているのかということ、ぜひ、「うちは普通のもので…」とか言うのではなくて、どんどんアピールしていただいて、私にも教えていただきたいですし、お客様にも周りの方にも言っていただくことで「そんなことができるのだったら、こんなことができますか？」ということで、印刷物の使われる範囲というのがもっと増えて行く可能性はあると私は思っていますので、ぜひ、皆さんの得意なところを私にもそれ以外の人にもぜひ教えていただいて、一つでも多く、いい紙物を作るためにも情報発信していただきたいなと思っております。

Horizon

Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



ホリゾン・ジャパン株式会社

www.horizon.co.jp



紙枚数計数機

カウントロン

AT-twin NEW



ISO14001 認証取得企業
ISO 9001

株式会社 ウチダテクノ
(株)内田洋行グループ企業

〒116-0011 東京都荒川区西尾久4-25-3 ☎03(5901)2171
 〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 ☎06(6920)2460
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-20 ☎052(220)5270
 〒060-0041 札幌市中央区大通り東3-1 ☎011(241)2825
 〒816-0053 福岡市博多区東平尾1-18-54 ☎092(624)9988

www.utecs.co.jp
070606

めくりセがつかない計数機に
ダブルヘッド型が新登場

用紙端2ヶ所の同時計数により
精度向上と時間短縮を実現

「第5回拡大理事会」開催

12月8日(木)午後2時00分から、第5回拡大理事会を、理事長、副理事長、他役員23名が出席で開催された。

始めに、中本理事長から「早いもので今年最後の理事会になりました。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。9月末の名古屋での全印工連フォーラム、10月には3年ぶりの夢メッセ開催、先月には東京での理事会等々スケジュールはありました。そういったところで来年はいよいよ2023全日本印刷文化典広島大会が開催されます。全印工連フォーラムではPRをしましたがいよいよ本番を迎えます。各委員会で活発な意見を重ねながら、10月には全国の仲間をお迎えしたいと思っております。ご協力をお願いします。次に先日の理事会の報告をします。中小印刷産業振興議員連盟総会での話の中で、電気料金値上げがあったが印刷料金に転嫁したかの問いに、殆ど

ができないと回答があった。そういう話を議員に聞いてもらった。そして、産業戦略デザイン室から『DXによる価値創出について』PDFを作成したので皆さんにぜひ見てもらいたい」等々の話があり議題に移った。

議題

- (1) 新年互礼会の開催について
開催の注意点を報告
- (2) 夢メッセの総括について
開催記録の作成
- (3) 2023全日本印刷文化典広島大会に向けて
 - ・各委員会の役割
 - ・業務、委員会同士の横の連絡等々
- (4) その他



【新刊紹介】

JAGAT刊 『印刷白書2022』のご紹介

公益社団法人日本印刷技術協会より「印刷白書2022」が発刊されたのでご案内します。

本書は、公表された各種統計データから、印刷産業の動向を捉えるために必要なものを網羅、掲載するとともに、今後のビジネス展開における重要課題も多く取り上げ進むべき方向性も示唆されております。

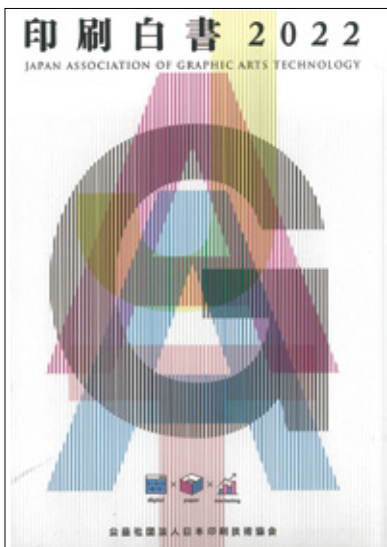
SDGs、DXが叫ばれる時代にあって、クライアントも印刷物の価値や必要性を見直しています。今後、益々小ロット化が進むと思われる状況において、さまざまに注文を増やす戦略をとらないと、収益の確保は難しくなっていくでしょう。本書はKynoteを“印刷会社の造注・創注戦略”として、具体的にどのような手法

をとるべきか、どこに着目すれば指針となるのかなど、各テーマに沿って具体的な事例を交えて考察を行っています。ビジネスの進むべき方向性を定めるヒントとなるでしょう。

つきましては、組合員の皆さま方にとっても有益な図書であると判断し、ご紹介させていただく次第です。

なお、当組合を經由してお申し込みいただければ、定価9,900円を組合員様特別価格 8,300円(税込) + 送料でご提供させていただきます。

申し込みについては、広島県印刷工業組合事務局
TEL / 082-293-0906 までご連絡ください。



【申込書】

月 日

印刷白書 2022		組合斡旋価格 8,300円(税込) × 冊	
		送料 + 620円 / 2部以上 820円	
送付先所在地	〒		
	TEL		FAX
会社名			
部署		役職	
フリガナ 申込担当者		

お申込み先

FAX / 082-293-0954 広島県印刷工業組合

令和4年度 永年勤続表彰

受賞者の皆さまおめでとうございます

令和4年度の永年勤続表彰が11月23日付けで実施され、勤続30・20年の被表彰者には滝澤光正全印工連会長・中本俊之県工組理事長連名、勤続10年の被表彰者には中本俊之県工組理事長名で表彰された。なお、今年の表彰者は29名で昨年に比べ4名の大幅減だった。今後も引き続き健康に気を付けて頑張ってください。

勤続30年表彰 5名

◆中川 知幸 株式会社アドプレックス	◆佐古 宏司 サンヨーメディア印刷株式会社
◆埜 義昭 //	◆兼岡 日出臣 瀬戸内海印刷株式会社
◆巖 佐知子 //	

勤続20年表彰 18名

◆難波 憲司 株式会社アドプレックス	◆桑田 智恵美 重田印刷株式会社
◆新井 良 //	◆山岡 智栄美 //
◆岡本 健吾 //	◆細川 将英 株式会社新生
◆池田 亜希子 //	◆脇 勇人 セイコービジネス株式会社
◆高取 正樹 株式会社インパルスコーポレーション	◆黄幡 和彦 大洋印刷株式会社
◆井藤 順児 //	◆内藤 美明 //
◆立道 哲視 //	◆藤 信正 洋 //
◆田原 裕二 重田印刷株式会社	◆多田 準 株式会社中本本店
◆奥家 純子 //	◆小原 慎也 //

勤続10年表彰 6名

◆末田 宏治 株式会社インパルスコーポレーション	◆小野 純子 瀬戸内海印刷株式会社
◆笹川 俊明 //	◆藤原 雅子 株式会社中本本店
◆福原 智恵美 //	◆野田 留理子 //



PAPERX
paper communication

KONOGAWA
PAPER CORPORATION

木野川紙業株式会社

広島本社 〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目1-22 TEL (082)277-5411(代)
東京支店 〒135-0043 東京都江東区塩浜1丁目5-23 TEL (03)5632-0911(代)

【福山支部だより】

11月例会 新年互礼会開催について

11月9日(水)、福山支部価値組委員会の11月(第226回)例会を開催しました。今回は年明けの新年互礼会について考える実行委員会を兼ねた例会でした。

コロナ禍が始まった2020年はギリギリ開催出来た新年互礼会。そのあと、あれよあれよという間に広がってしまっ、どうなることかと思案しているうちに翌年の互礼会は中止、さらにもう1年、悩んだ末に中止を決定。もう、、、2年開けていない備後印刷産業新年互礼会。今度の年明けの互礼会は何とか開催したく、どういうやり方が出来るか?から、どんな互礼会にした

いかを、皆さんの知恵をお借りしながら打合せしていただきました。今のところ開催する予定(キッパリ笑)。お楽しみにしててくださいね。

さて次回、12月の例会は親睦例会の予定。集まって、語り合っ共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに。そして自社の強みに気づくことに繋がればと思っっています。ありがとうございました。(占部)



事務局だより

◎組合のうごき

12月	8日	拡大理事会	印刷会館
		産業戦略デザイン室会議	東京
	9日	DTP技能検定事前研修	web会議
	10日	中国地区理事長会	鳥取
	17日	全青協正副議長会	熊本
	21日	広島大会、総務・広報企画打合わせ	印刷会館
26日	広島大会、式典打合わせ	印刷会館	

1月	5日	県工組新年互礼会	リーガロイヤルホテル広島
	11日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニューキャスルホテル
	16日	DTP技能検定 実技試験	広島コンピュータ専門学校
		常任役員会	web会議
	26日	経営革新マーケティング委員会	東京
	27日	CSR推進委員会	東京



2023
全日本印刷文化典
広島大会

真っ赤に燃やせ!
印刷魂
水の流れが大地を創る。人の心は未来を開く。
IN HIROSHIMA



2023年10月13日[金]→14日[土]

【主催】全日本印刷工業組合連合会・中国地区印刷協議会・広島県印刷工業組合
【お問い合わせ】広島県印刷工業組合 事務局:〒733-0035 広島市西区南観音1丁目1-22
Tel. (082) 293-0906 Fax. (082) 293-0954

SCREEN

謹賀新年

デジタル印刷に託す、印刷の未来

株式会社 SCREEN GP ジャパン

[詳しくはこちら](#)

中国営業所 / 082(264)6451 〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル
本社 / 03(5621)8266(代) 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマトネ深川1号館



FUJIFILM
Value from Innovation

駆け出そう。
印刷の自由な
未来へ。

印刷の可能性を、もっと広げるために。
印刷ビジネスの魅力をもっと高めるために。
FFGSは本年も、皆さまと共に走り続けます。

Value from Innovation

2023 謹賀新年

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ 株式会社